

広大な敷地に咲き乱れる「下田公園のアジサイ」に感動して！



緩やかな登坂路

下田あじさい公園

令和2年度はつつネットふじのくに会員事業研修旅行「上原美術館鑑賞と下田公園アジサイ祭り散策」が、6月18日に計画されていましたが、新型コロナウイルスの影響を受け今年度は中止となり、令和3年度に延期となりました。

外出自粛要請が発令される中、下田公園が県内ナンバー車の台数制限を条件に見学が可能となったため、早速万全なるコロナ対策を行い6月16日に下田に向かいました。

下田公園駐車場に到着すると、リニューアルされた有料駐車場には県内ナンバー車両がほとんどで、台数制限を行っている係員に導かれ駐車後、約8万坪の広大な敷地に約15万株、300万輪、100種以上のアジサイが咲き乱れる公園をゆっくりと散策し、かつてない感動を得ましたので、皆様に報告させていただきコロナ感染症が終息に向かった折には、令和3年度に予定されている研修旅行に皆様と一緒に参加したいと願っています。



記念碑前の坂



米大統領来訪記念碑

入口から10分ほど緩やかな登りの坂を両サイドに咲き誇るアジサイを見ながら登っていくと、前方にアジサイの花に包まれた記念碑が見えてきました。

記念碑は、昭和54年東京サミットで来日した際に下田市を訪れたジミー・カーター第39代米国大統領の下田来訪を記念し建立されたものです。

石碑文⇒「日米両国民の友情が初めて根をおろし花開いた  
私達は共に信頼と理解に基づいた永遠の友情を  
築き上げてきた。私達のパートナーシップは  
すべての人々が、いつの日か兄弟愛と繁栄と  
平和のうちに共に暮らすことを学ぼうという  
希望そのものである。」  
1979年6月26日  
第39代 米国大統領 ジミー・カーター

1856年(安政3年)下田の玉泉寺に、タウンゼント・ハリスが日本最初の米国総領事館を開設した地であり、米国とのつながりから、毎年5月には下田の地で米国海兵隊も参加し「黒船祭り」が開催されています。

次年度企画される「はつつネットふじのくに会員事業」研修旅行には、アジサイ鑑賞とともに、当時の歴史を学べる玉泉寺住職の法話が含まれています。



[開国記念広場を更に進む](#)



[稲生沢川河口を望む](#)

米国大統領来訪記念碑のある歩道を、左に折れ開国記念広場(黒船祭りイベント場所)を左に見ながら進んで行きました。  
両サイドのアジサイに囲まれ、なだらかな坂道(写真左)を上りつめたところで、眼下を見降ろすとアジサイの合間から稲生沢川と下田の街並みがくっきりと見えてきました。

数多い種の中で心に残るアジサイをご覧ください



[4-1](#)



[4-2](#)



[5-1](#)



[5-2](#)



[6-1](#)



[6-2](#)



[7-1](#)



[7-2](#)



[8-1](#)

[8-2](#)

以上、私が思わずシャッターを切った10種類のアジサイを見て頂きましたが、同じ種でも色合いが少しずつ違い、それぞれの個性を出しているアジサイの花は何とも言えません。特に日本原産であるガクアジサイは、いつまでも見とれてしまう魅力的な花びらが、私達の心を引き付け、時を忘れさせてくれます。



[鵜嶋城へ続く歩道](#)



[アジサイ群落へむかう](#)

公園の一番高い場所、鵜嶋城址に向かう歩道(写真左)をしばらく進むと、右側に折れる歩道に差し掛かります。これからアジサイ群落(写真右)の歩道をアジサイに埋もれながら駐車場に向け下っていきます。



[アジサイ群落](#)



[アジサイ群落歩道より](#)

アジサイが群生しているため遊歩道が花に埋もれ見えません。  
混雑しないよう入園制限をして頂いているため、安心してアジサイ公園散策を行うことが出来ました。  
来園者全員がルールを守りマスクをしていますが、海から快い風が吹いてくるためあまり暑苦しいとは思いませんでした。

はつらつネットふじのくに会員事業研修旅行「(下田)上原美術館鑑賞」⇒「下田(アジサイ)公園散策」⇒「(下田)玉泉寺歴史探訪」が、平成3年度6月中旬に開催できることを祈りつつ帰途につきました。

取材:富士・富士宮・北駿地区担当 生きがい特派員 渡邊英機